

2/2  
月

# 山梨県裏金の質問

## 寄付不記載 二階派・知事への取材

山梨県が、報道各社による長崎幸太郎知事への個別インタビュー取材を巡り、民進党派閥の政治資金パーティー裏金事件に関連する質問を扱わないよう求めたことが分かった。要請に応じなかつた1社が取材を拒否された。県内の報道各社が加盟する山梨県政記者クラブは21日、長崎氏宛てに抗議文を提出。「意に沿わない報道に圧力をかけた」と批判した。

長崎氏が代表を務める資管管理団体は、裏金事件で

経緯の説明が不可欠

専修大の山田健太教授（言論法）の話 不都合な質問を拒んだり、特定のメディアの取材を受け付けなかつたりして、都合の良い取材を求められれば応諾す

る情報だけを流さないの

は、報道をコントロールしようとする行為だ。国民の権利を阻害し、決して許されない。特に行政機関のトップは、報道機関から

の対応に關し、憲法が保障

する言論と表現の自由を脅かしかねないと指摘。「質問規制は異例で、到底受け入れられない」と強調し、説明責任を果たすよう求めた。

抗議文は県広聴広報グループの幹部も対象とした。

同グループの担当者は21

元会計責任者が立件された自民二階派からの寄付金1,822万円を政治資金収支報告書に記載しなかつた。市民グループは1月、政治資金規正法違反の疑いで長崎氏らを甲府地検に告発した。

抗議文でクラブ側は県側の対応に關し、「削除しなければ取材に応じられない」と通告し、実際「削除しなければ取材に応じられない」とのコメントを出した。質問を削除せず、実際に取材拒否されたテレビ山梨（甲府市）は「誠に遺憾だ。不当な取引の持ちかけに当たる」とのコメントを出した。

日、県庁で抗議を受け取り、「内容を確認したい」と述べた。インタビューは5~14日、クラブ加盟の新聞・通信、テレビなど計11社が順次実施。県側は質問の事前提出を求めた上、政治資金関係の質問を予定する社に「削除しなければ取材に応じられない」と通告した。質問を削除せず、実際に取材拒否されたテレビ山

梨（甲府市）は「誠に遺憾だ。不当な取引の持ちかけに当たる」とのコメントを出した。

県側の要請があつたもの、複数社は国民の知る権利に資するなどとして、質問を敢行。共同通信も5日から一體派に所属。2019年に知事へ転じた後も在籍する。

で説明を十分尽くしているとした。

長崎氏は衆院議員時代から一體派に所属。2019年に知事へ転じた後も在籍する。